

つぎのおはなしは おうちのひとが よんであげてください。よみおわってから つぎのページの プリントを わたしてください。

【ブレーメンのおんがくたい】

ある人が 一匹のロバを 持っていました。そのロバは役に立たなくなったので 追い出されてしまいました。そこで ロバは ブレーメンの音楽隊に入ろうと 思いました。しばらく行くと 年寄りの犬が くたびれ果てた顔で 道に寝ています。ロバが『こんな所でどうしたんだい。』と聞くと 犬は言いました。『年をとって 狩りができなくなったから ご主人様に追い出されたのさ。』と 言いました。『じゃあぼくといっしょに ブレーメンの音楽隊に入ろう。ぼくはギター 君は太鼓を叩くのさ。』と ロバは言いました。

しばらく行くと 今度は びしょぬれの猫に 会いました。『おかみさんは ねずみ取りができなくなった私を 川に投げ込んだのさ。』と猫は悲しそうに 言いました。『ブレーメンの町に行こう。君はセレナーデがうまいから 町の音楽隊に入れるよ。』

3匹は歩き出すと 大声で泣いている雄鶏を 見つけました。『ぼくは 明日殺されて スープにされてしまう。どうしよう。』ロバは『ブレーメンへ行こう。君は良い声をしているから いっしょに音楽をしよう。』と 言いました。

その日は 森に泊まることにしました。雄鶏が遠くの灯りを見つけ 『あそこに家がある。』と 叫びました。ところが その家には 泥棒が 住んでいたのです。中で 泥棒たちは ご馳走を食べていました。四匹は それぞれ 泥棒を追い出す方法を考え出しました。そしてとても良い方法を思いつきました。ロバは前足を窓にかけ ロバの背に犬が乗ります。犬の上に猫がよじ登り 雄鶏は飛びあがって 猫の頭の上に止まります。そしてロバはわめき 犬は吠え 猫は鳴き 雄鶏は『コケッコー』と 時を告げると いっせいに家の中に飛び込みました。泥棒は恐ろしくなり 森へ逃げ出しました。四匹は家の中に入り ご馳走を食べて 眠りました。

その夜 泥棒の子分が 家の中を探りに行きました。子分は 猫の光る目を 残り火と間違えて マッチをつけようとした。驚いた猫は 子分の顔を引っ掻き 犬は足に噛み付き ロバは足で蹴り 雄鶏は大声で鳴きました。驚いた子分は森へ逃げて行きました。『あの家には怪物や魔女が住んでいて 恐ろしくて住めない。』と 親分に話しました。そしてブレーメンの音楽隊は この家で仲良く暮らしました。

お話は これで 終わりです。では 次のページのプリントを 渡してください。

【しつもん】

1. おはなしに でてこなかった どうぶつを えらんで そのどうぶつに あかで ○を つけましょう。
2. おはなしに でてきた がっきに あおで ○を つけましょう。
3. どろぼうを おどかしたときに いぬの うえに のっていた どうぶつに ピンクで ○を つけましょう。

プリントの質問はこれでおしまいです。ほかにも いろいろ質問してみましよう。

ねん 年 がつ 月 にち 日 なまえ 名前

